

- 女性農業者は農業生産場面における技術や知識等を学ぶ機会が少ないため、H26年に立ち上げた『八頭郡農業女子会』を対象として、農業経営参画のための資質向上を目的とした研修会を開催した。
- 女性が主体的に取り組めるツールとして3S(整理・整頓・清掃)の取組を支援するとともに、農業機械操作、梨の栽培管理技術、農産物の直売体験等の農業に関する技術や知識の習得支援を行った。
- 令和2年までに8名の女性が主体的に3Sに取り組み、作業時間が短縮するなどの成果が見られた。また、親元就農した女性は技術・知識の習得の成果として主体的な経営参画が進み、経営継承に向け進展した。

具体的な成果

1 3Sの取組みの理解促進と実践

- 令和2年度までに8名の女性が3Sに取り組み、作業の効率化等につながった。

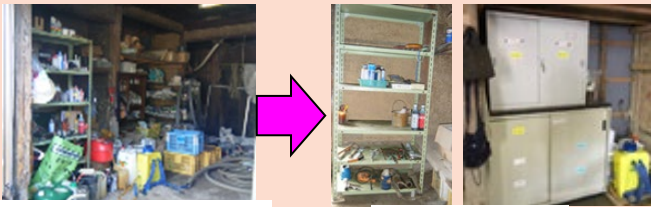


写真:改善前(A農家)

写真:改善後

(A農家の取組み後の効果)

- ・防除準備作業時間が1/3に短縮
- ・足元にモノがなくなり、安全に作業ができるようになった 等
- 新たに取組みの意向を示している農家があり、今後も広がりつつある。

2 女性親元就農者が経営継承に向けて前進

- 3Sや農業機械等の技術や知識の習得により、主体的な経営参画が進み、経営継承の準備が進んだ。

3 経営参画に向けた意欲が向上

- 研修会を通じて、農業機械活用や栽培技術向上の意欲が高まってきた。
- ・初めて乗ったが自信がついた。家でも実践したい。(トラクター研修参加者)
- ・応用編を学べてよかった。励みになった。(梨剪定勉強会参加者)

普及指導員の活動

■3Sの取組み支援

- ・3Sの啓発と具体的な手法を習得するため、視察研修を開催(H30)
- ・個別に啓発を行い、3Sの実践を支援(H30～R2)
- ・3Sへの理解や意欲向上のため、個々の取組み結果を共有する情報交換会を女子会で実施(H30～R2)

■農業に関する技術や知識の習得支援

- ①農業機械操作の習得支援(JAと連携)
 - ・トラクター等メンテナンス研修(R2)
 - ・Web会議システム操作研修(R2)
- ②栽培管理に関する技術等の習得支援
 - ・梨の剪定勉強会(R1、R2)
 - ・農薬勉強会(R1)
- ③販売に関する知識等の習得支援
 - ・農産物の直接販売を体験するため、地元のイベント参加を支援(R1、R2)

普及指導員だからできたこと

- ・普及指導員としてのコーディネート機能を発揮し、女性農業者のネットワークを有効な学びの場とするとともに、つながりを強化できた。また、JAやイベント関係者等と連携し、ニーズにあった研修会を開催するなど、きめ細かい対応をすることができた。

鳥取県

女性農業者の農業経営参画のための資質向上

活動期間：平成30～令和2年度

1. 取組の背景

(1) 背景

- ・八頭農業改良普及所は、管内女性農業士からの女性農業者が交流する機会や学ぶ機会を作ってはどうかとの提案を受け、平成26年に女子会の立上げを支援した。
- ・女子会では、会員相互が交流促進を図るとともに、普及所は、女性農業者の農業経営参画のために必要な資質の向上を目的として、共通の課題である土づくりや簿記などの研修会を開催し、農業関係の技術習得の支援を行ってきた。
- ・平成29年に開催したGAPやHACCPの研修会を契機に3S（整理・整頓・清掃）への取組みに関心が高まってきたことから、平成30年からは、女性を取り組みやすい経営改善のツールとして3Sを推進することとした。
- ・女子会の会員の中には親の経営を継承予定の親元就農者があり、早期技術習得の支援が必要であった。

2. 活動内容（詳細）

(1) 農業機械・栽培管理や販売に係る知識技術習得支援

- ア 安全に作業を行うため、農業機械等の使い方・メンテナンス方法の習得
⇒刈払機研修（H30年）、トラクター研修（R1）、刃物の研ぎ方講習（R1）、トラクター、刈り払い機メンテナンス研修（R2）
- イ 果樹農家を対象に剪定技術等の習得や労働負担軽減の啓発
※R1年から女子会の「梨部会」を立ち上げ活動
⇒剪定勉強会、農薬等勉強会、労働改善グッズの試着
- ウ 販売に係る知識技術習得支援
※R1年から女子会の「販売部会」を立ち上げ活動
⇒地元イベントでのブース参加（11月）



【写真1】



【写真2】



【写真1】：トラクター研修(7月)

【写真2】：梨の剪定勉強会(12月)

【写真3】：イベントでの直接販売(11月)

【写真3】

(2) 整理・整頓・清掃(3S)の取組み支援

⇒研修会等での取組み啓発、取組農家の個別支援

< 3Sの取組み事例 (A農家) >



【写真4】 3S取組前(作業場)



工具棚

【写真5】 3S取組後(作業場)



農薬保管庫

(3) Web会議システム操作研修

⇒講師を招いてWeb会議システム「zoom」の操作研修を行った。

3. 具体的な成果

- ・研修会を通じて、農業機械の活用や栽培技術の向上の意欲が高まった。
- ・イベント参加により消費者のニーズの把握や食品の表示方法など販売のノウハウについて習得することができた。
- ・女子会で8名が3Sを実践し、到達目標を達成できた。実践した会員の中には作業時間が短縮するなど経営改善につながった農家もあった。また、新たに取組みの意向を示している会員もあり、今後も広がりつつある。
- ・重点対象の親元就農した女性は、3Sや農業機械等の知識や技術の習得により、主体的な経営参画が進み、スムーズな経営継承につながった。

4. 農家等からの評価・コメント

(A農家：3Sの取組に関して) 防除準備作業時間が1/3に短縮して、作業効率の向上が図れた他、足元に物がなくなったことで安全に作業ができるようになり、3Sの重要

性を認識できた。家族で協力し合いながら継続的に取り組んで行きたい。

(B農家：機械操作研修に関して) 基本がわかったことで機械操作の恐怖感が減った。実際に操作体験ができて良かった。家でも実践したい。

5. 普及指導員のコメント

・女性の経営参画を促進する上で、女性が主体的に取り組めるツールと見込んで3Sを推進した結果、予定していた8名全員が3Sに取り組むことができた。

今後は、5SやGAPへの取組発展を支援していきたい。

(八頭農業改良普及所 普及主幹 遠藤 奈緒子)

・「梨部会」を立ち上げ、栽培管理に関する研修会を開催したことで、仲間づくりや知識・技術の定着が進んだ。今後も学びの場の提供を続けたい。

(八頭農業改良普及所 普及員 眞山 仁)

6. 現状・今後の展開等

(1) 農業機械操作等の技術向上支援の継続

令和元年度に行った研修会のアンケートなどで、農業機械の操作など農業生産場面における技術を女性が学ぶ機会が依然少ないことがうかがえた。女性が参加しやすい研修機会を増やしていくため、継続的に研修会を実施する。

(2) 3Sの維持に向けた働きかけと地域への波及

取り組んでも維持が難しいという農家があるため、定期的に状況を確認するなど継続的な働きかけをしていく。また、機会を捉えて取組み事例を紹介し、地域へ波及させていく。

(3) 資質向上後の農業経営参画の実現に向けた支援と検証

『八頭郡農業女子会』の若い会員は意欲的に研修会等に参加しており、このような資質向上にむけた研鑽を続けることで積極的な農業経営参画が期待できる。

経営参画にむけては、家族の男女共同参画に対する意識や協力も不可欠であり、3Sの取組推進をきっかけに普及所として入り込めた普及対象の家族経営体に対して、経営参画が実現するよう継続的に支援するとともに、その実績を確認していく。

(4) 次世代のリーダーの育成

前向きな女性農業者の活躍を地域内外に周知し、仲間を増やすとともに、地域農業をけん引する次世代のリーダーの育成につなげたい。